

## 長寿命化修繕計画策定

## 長寿命化修繕計画策定

### 1) 長寿命化修繕計画策定の背景と目的

#### 背 景

高齢化する橋梁群の管理に際し、予防的な修繕と計画的な架替えにより費用を縮減することを目的とした修繕計画である。コストを最小化する個別橋梁の対策内容、点検時期、対策時期等を計画としてとりまとめ策定する。なお、耐震補強対策、耐荷重対策等を加味し、予算や事業規模（橋梁単位や路線単位）によって実状に沿った計画とする。

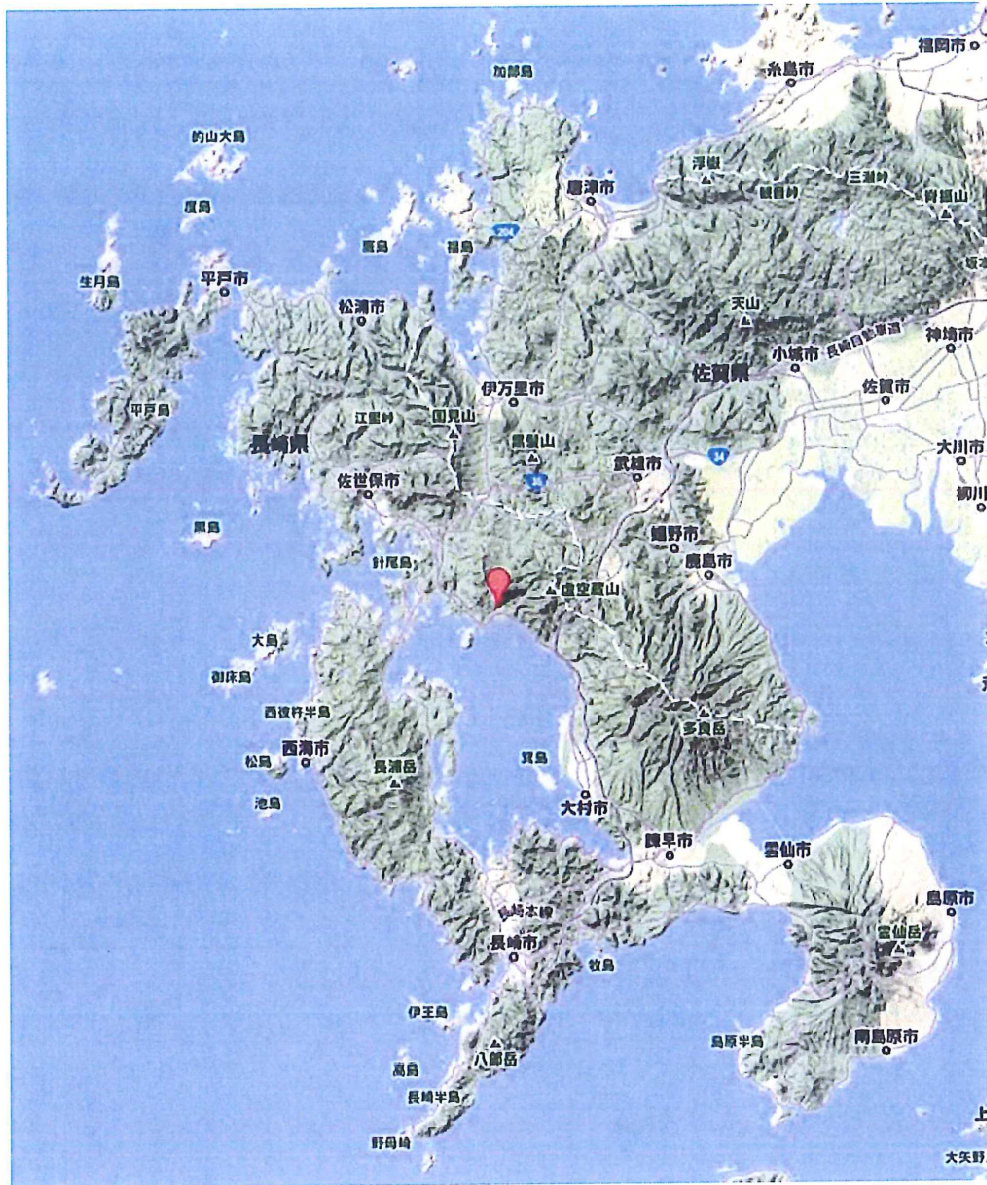
川棚町で今年度長寿命化修繕計画の対象となる橋長15m未満の橋梁は全89橋である。そのうち、供用年数50年以上の橋梁は2橋で全体の約2%、20年以上となると全体の約12%となる。

近い将来、約半数の橋梁に維持・修繕または、架替え事業が発生すると思われる。橋梁の高齢化が進む管理橋梁に対して、従来の事後保全型の維持管理を継続した場合、維持管理コストが増加し、厳しい予算制約の中で、安全性・信頼性の確保のための適切な維持管理を続けることが困難になる恐れがある。

#### 目 的

今後、高齢化する橋梁の維持・修繕費用の増大に対応するため、従来の事後保全的な修繕及び架替えから予防的な修繕および長寿命化修繕計画に基づく架替えへと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕・架替えに係わる費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

## 2) 地域特性



### ・地域特性

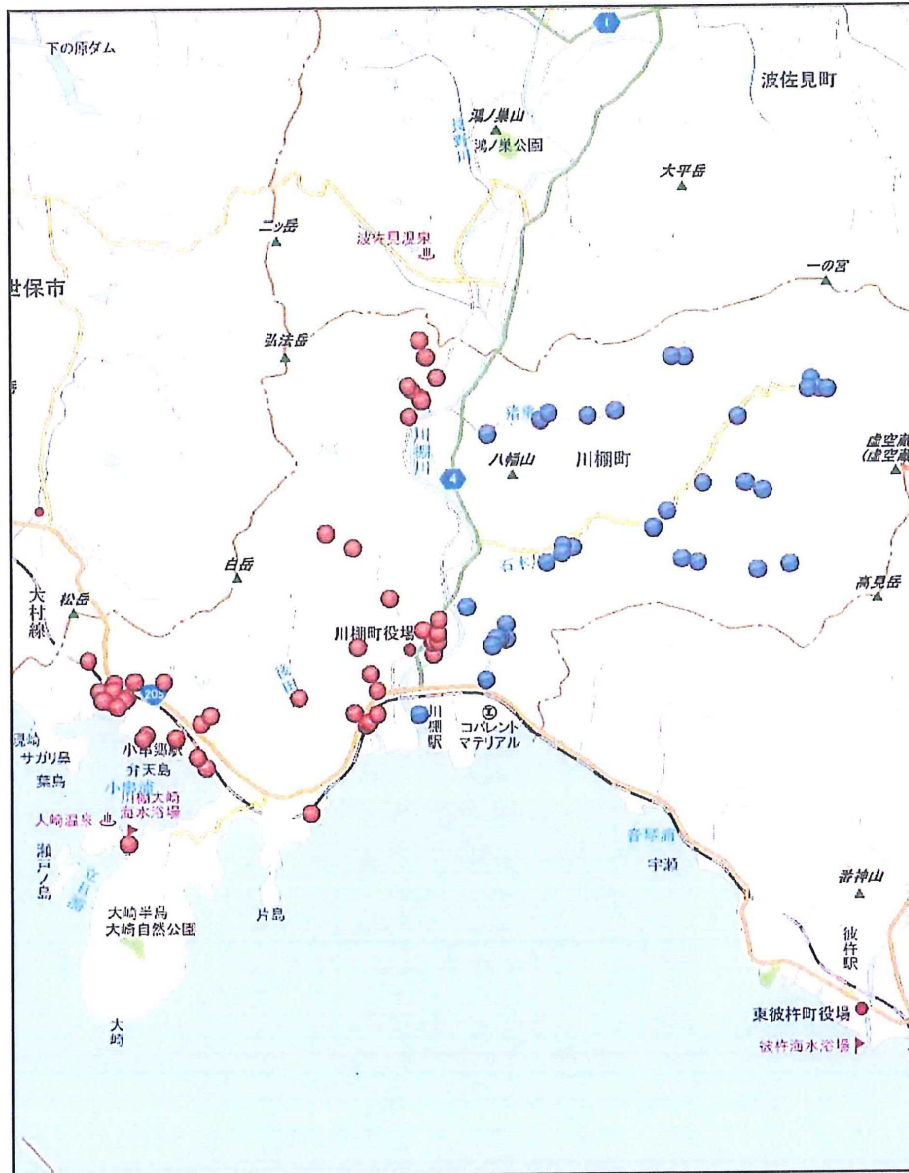
川棚町は県のほぼ中央部に位置しています。町の面積は約37.2 k m<sup>2</sup>です。北部は佐世保市、南部は東彼杵町に接し、西部は大村湾に面しています。東には虚空蔵山がそびえ、これを源にする石木川が川棚川と合流し、町中央を流れ、大村湾に注いでいます。石木川と川棚川を主とする多くの河川が町内を流れています。

### ・橋梁環境

- ・西に面する大村湾からの、海風により塩害を受けやすい。
- ・供用年数50年を経た橋梁は2橋あります。

### 3) 橋梁の状況

#### ・川棚町管内の橋梁位置図



#### 【川棚川支流及び東部橋梁群】

・上石木橋・小田橋など (40/89橋)

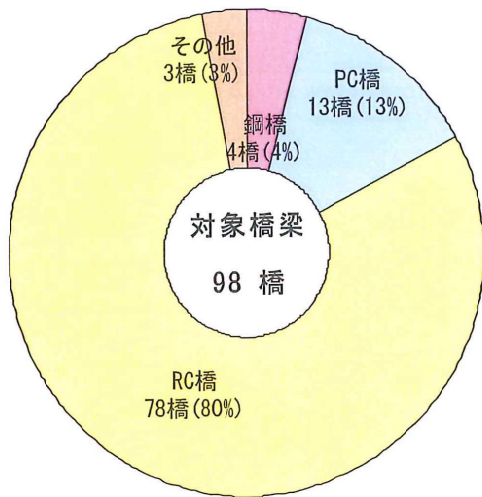
#### 【川棚川支流及び西部橋梁群】

・高野川内橋・一本木橋など (40/89橋)

・対象橋梁の内訳

長寿命化修繕計対象橋梁全89橋について、橋種別（鋼橋、PC橋、RC橋、その他）の橋梁数と架設年次について分析を行っている。

なお、同一橋梁で構造形式が異なる場合は複数橋梁と見なしているため、89橋を98橋として分析している。



橋種別の橋梁数（橋）

※上流側と下流側で構造形式が異なるため、2橋として点検結果を区分。

- ・ 旭ヶ丘2号橋
- ・ 開1号橋
- ・ 陰平橋
- ・ 新谷1号橋
- ・ 堺橋
- ・ 塩浜5号橋
- ・ 中山1号橋
- ・ 塩浜7号橋

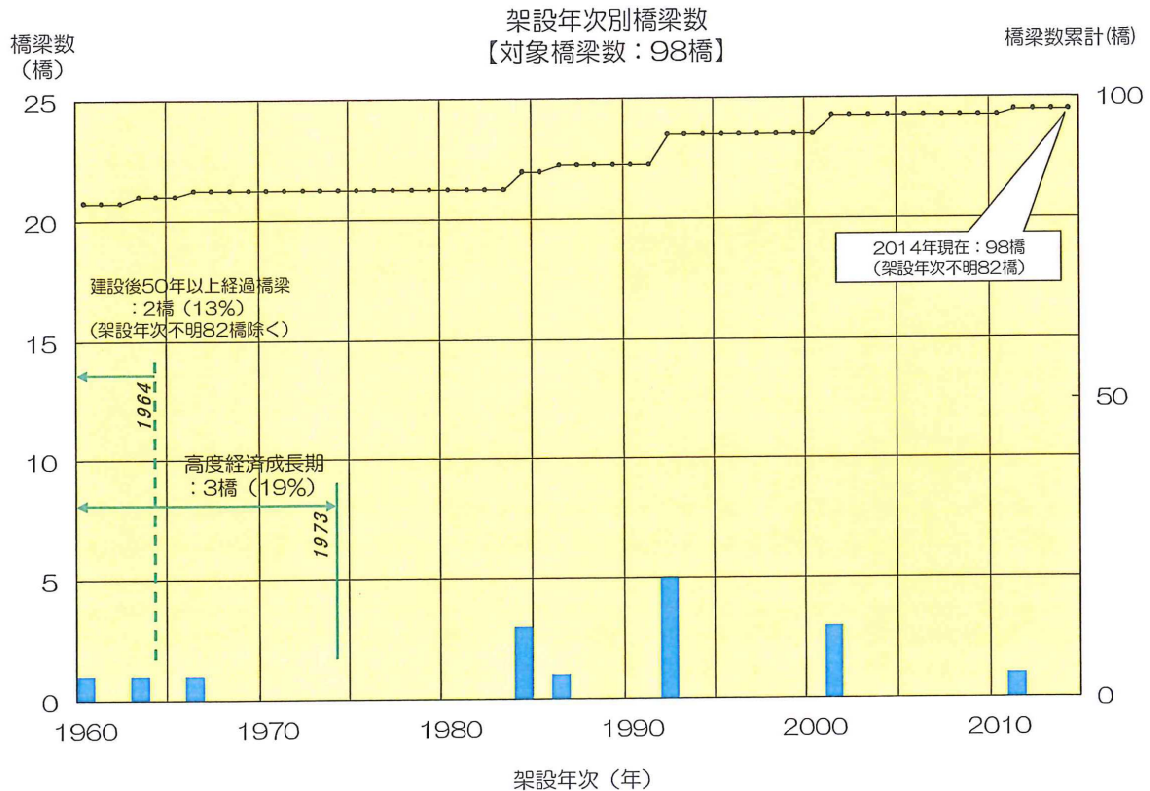
※上・下流側と中央部で構造形式が異なるため、2橋として点検結果を区分。

- ・ 土橋

以上より、全橋梁数を98橋とする。

RC橋	:	78橋	,	80%
PC橋	:	13橋	,	13%
鋼橋	:	4橋	,	4%
その他	:	3橋	,	3%

対象橋梁の半数以上がRC橋である。



- ・ RC橋が80%を占めます（78／98橋）
- ・ 高度経済成長期には全体の19%（3橋）を架設しています。